

# 1 渇水が頻発する中部地方

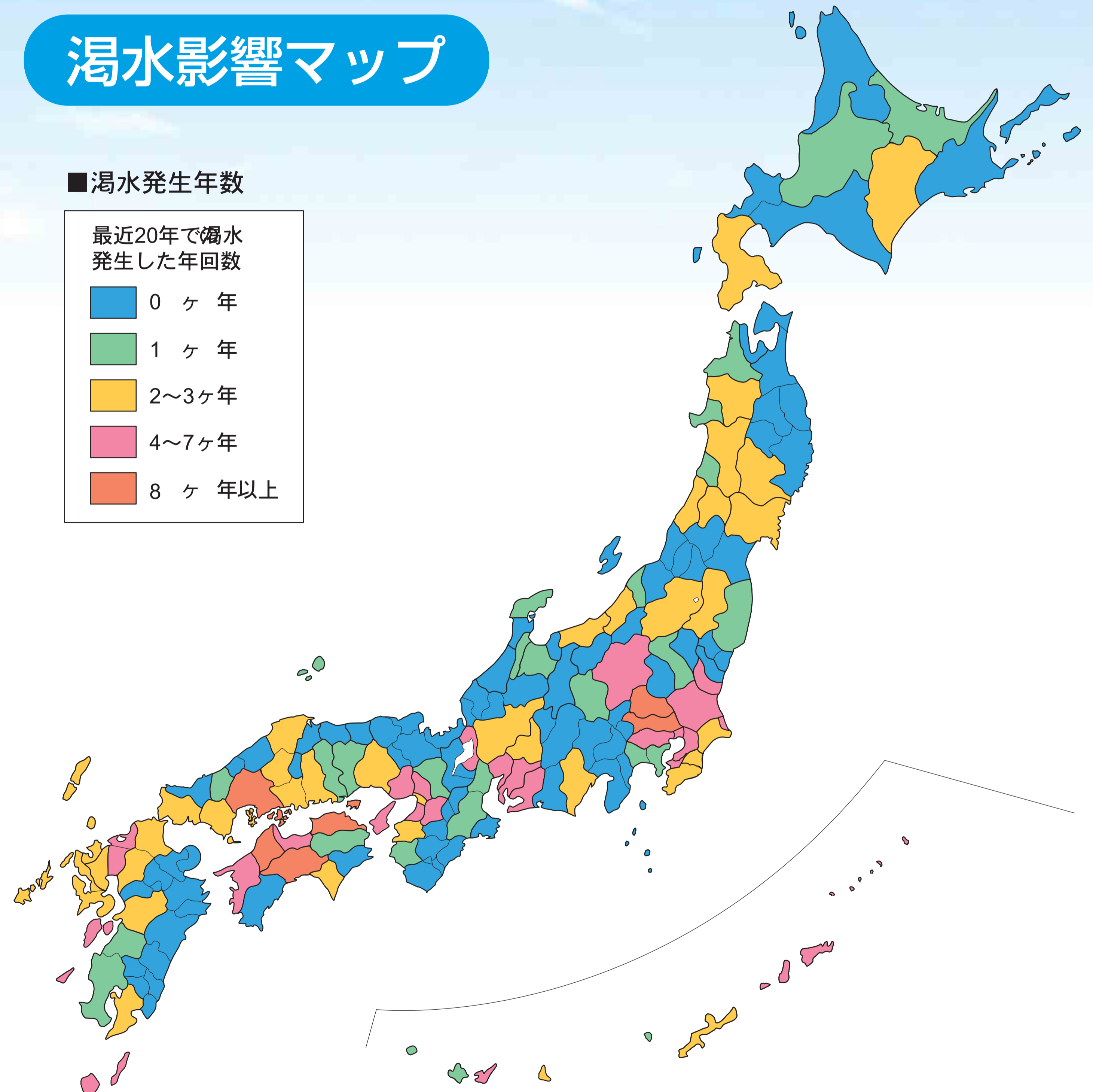
水資源の利用は気象など自然環境の影響を強く受けます。特に近年は雨の多い年と少ない年の変動が大きくなっており、渇水時の水不足も増す傾向にあります。中部地方では、たびたび渇水が起きて、生活や経済活動に大きな影響を与えています。

## 渇水影響マップ

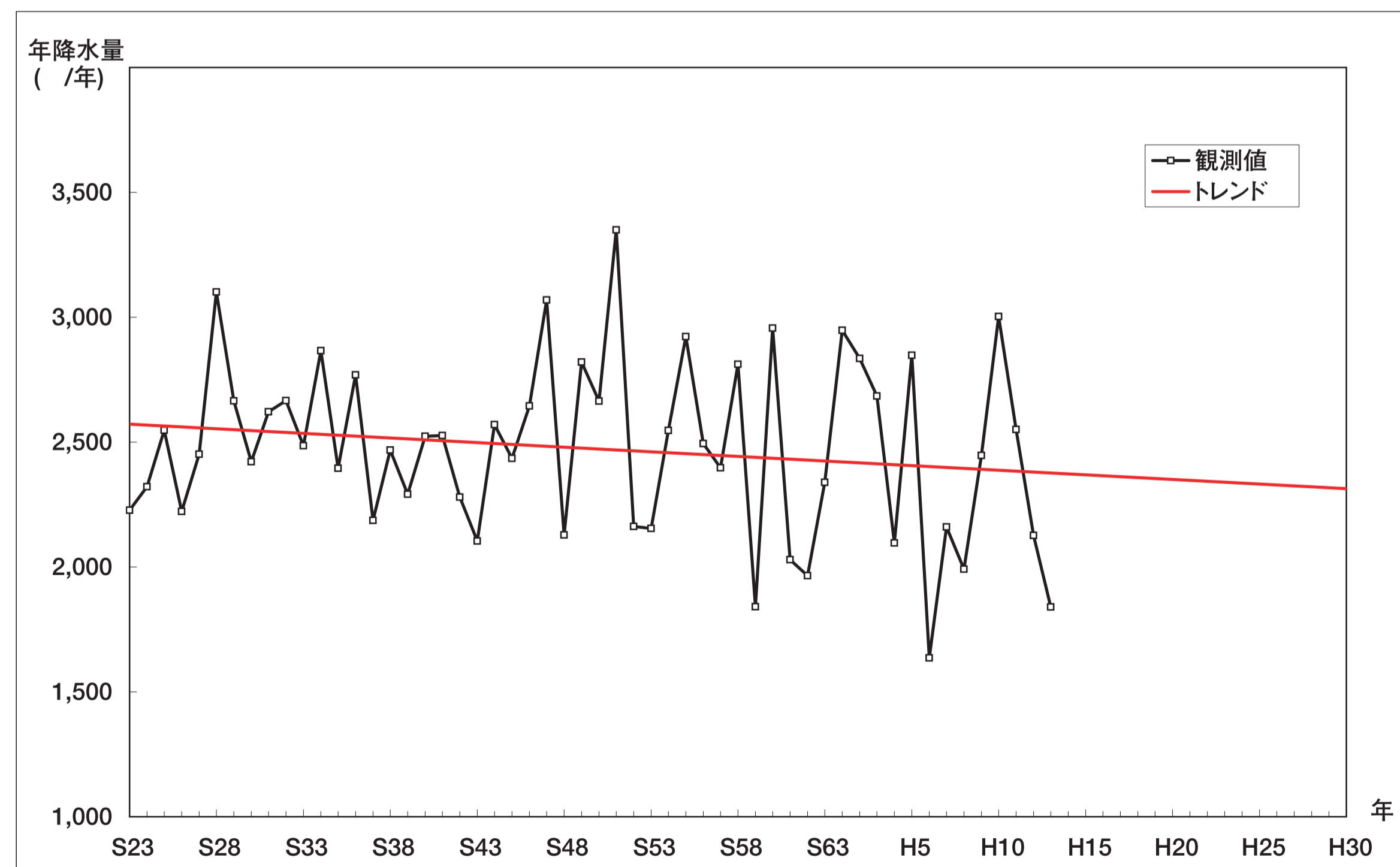
■ 渇水発生年数

最近20年で渇水発生した年回数

- 0 ケ年
- 1 ケ年
- 2～3ケ年
- 4～7ケ年
- 8 ケ年以上



## 木曽川流域の降水量の経年変化



雨量観測所：(木曽川) 敷原、西野川、福島、王滝、三浦、三留野、福岡、笠置、黒川、高根、胡桃島、湯屋、下呂、大原、小川、和良、(神測)、三川、(上麻生)、開田(気)、付知(気)、中津川(気)、金山(気)  
 (長良川) 大鷲、那比、太之田、中切、洞戸、葛原、八幡(気)、美濃(気)、岐阜(気)  
 (揖斐川) 徳山、(春日)、金原、多良、(牧田)、揖斐川(気)、樽美(気)、関ヶ原(気)  
 \*( )についてはH11より廃止

昭和58年から平成15年の間で、上水道について減断水のあった年数を図示したもの。〈出典〉国土交通省資料



# 2 平成17年の渇水の状況

平成17年の春から夏にかけて、中部管内では降水量が平年の2～4割しかなく、各河川の流量やダム貯水量は極端に少ない状況となりました。ダムの貯水量は平成6年の渇水時よりも早いペースで減少し、過去最大の渇水被害の発生が心配されました。

## 木曽川水系ダム枯渇の危機（牧尾ダム）

平常時

貯水率  
約100%



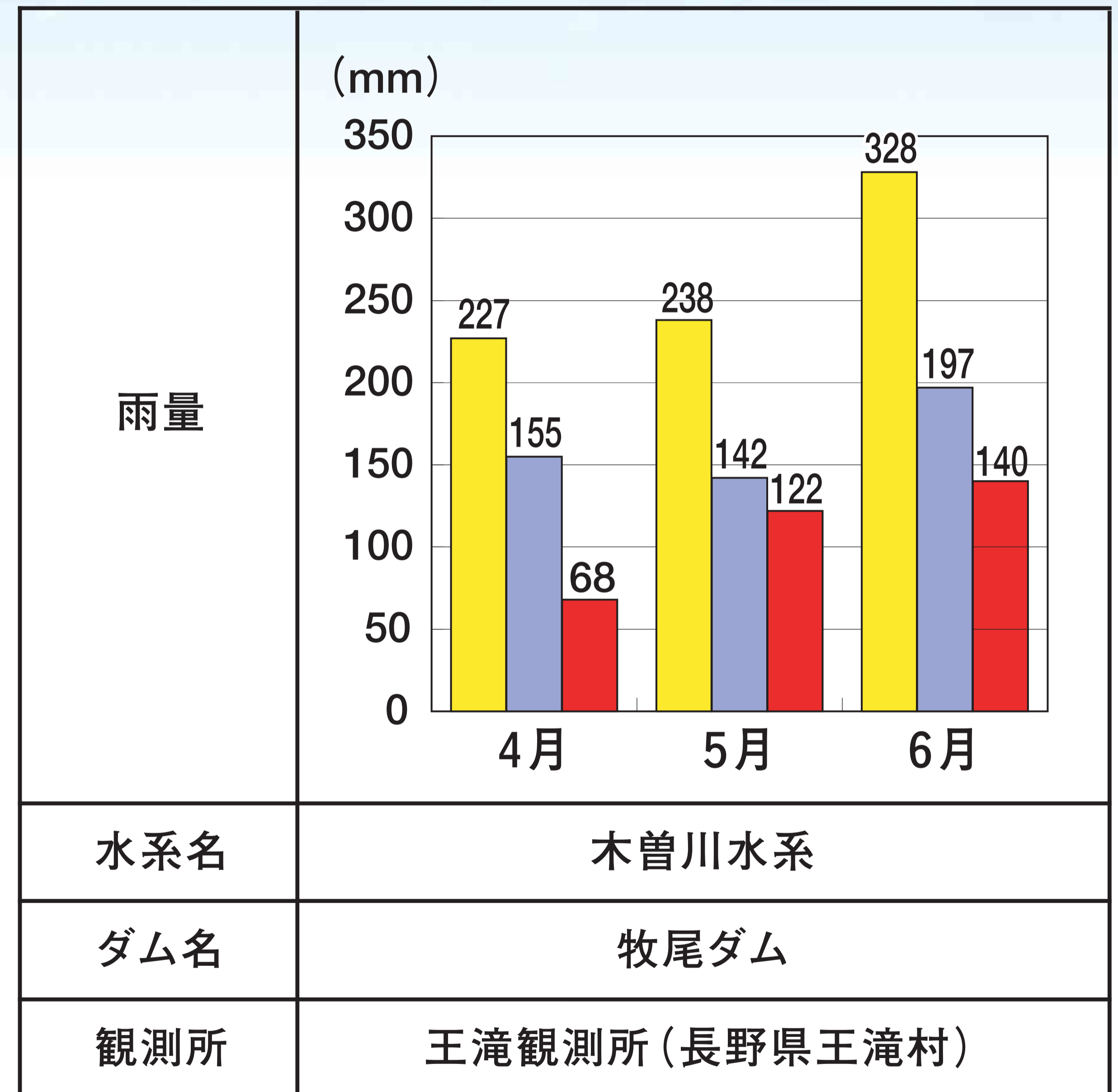
渇水時 H17.6.27



貯水率  
約5%

## 平成6年の渇水を下回る降雨量

4月～6月の降雨量の比較（平年値、H6年、H17年）



■…平年値   ■…平成6年   ■…平成17年

※雨量データは速報値



# 3 渇水による影響

## 河川の状況

河川流量が減少したため、木曾川水系の揖斐川支川などでは川に水が流れなくなる瀬切れが発生しました。根尾川では、漁協等が水たまりにとり残されたアユを救出しました。各河川でもアユの漁獲量が減少しました。また、鵜飼い船、船下り等の運行に支障が発生し、一部で運休されました。



鮎の救出活動 (H17.6.20 根尾川)

## 利水への影響

水道用水では、水道事業者(市・町)がダムからの補給水の減量分を地下水の取水割合を増やして補ったり、大口の利用者へ節水を要請しました。

また、節水の厳しい一部地域では噴水の停止、プールの使用中止や給水バルブの調整(水圧低下の措置)をしました。

読売新聞  
(H17.6.29)  
掲載記事

日経新聞  
(H17.7.2)  
掲載記事



# 4 渇水対策等の対応(その1)

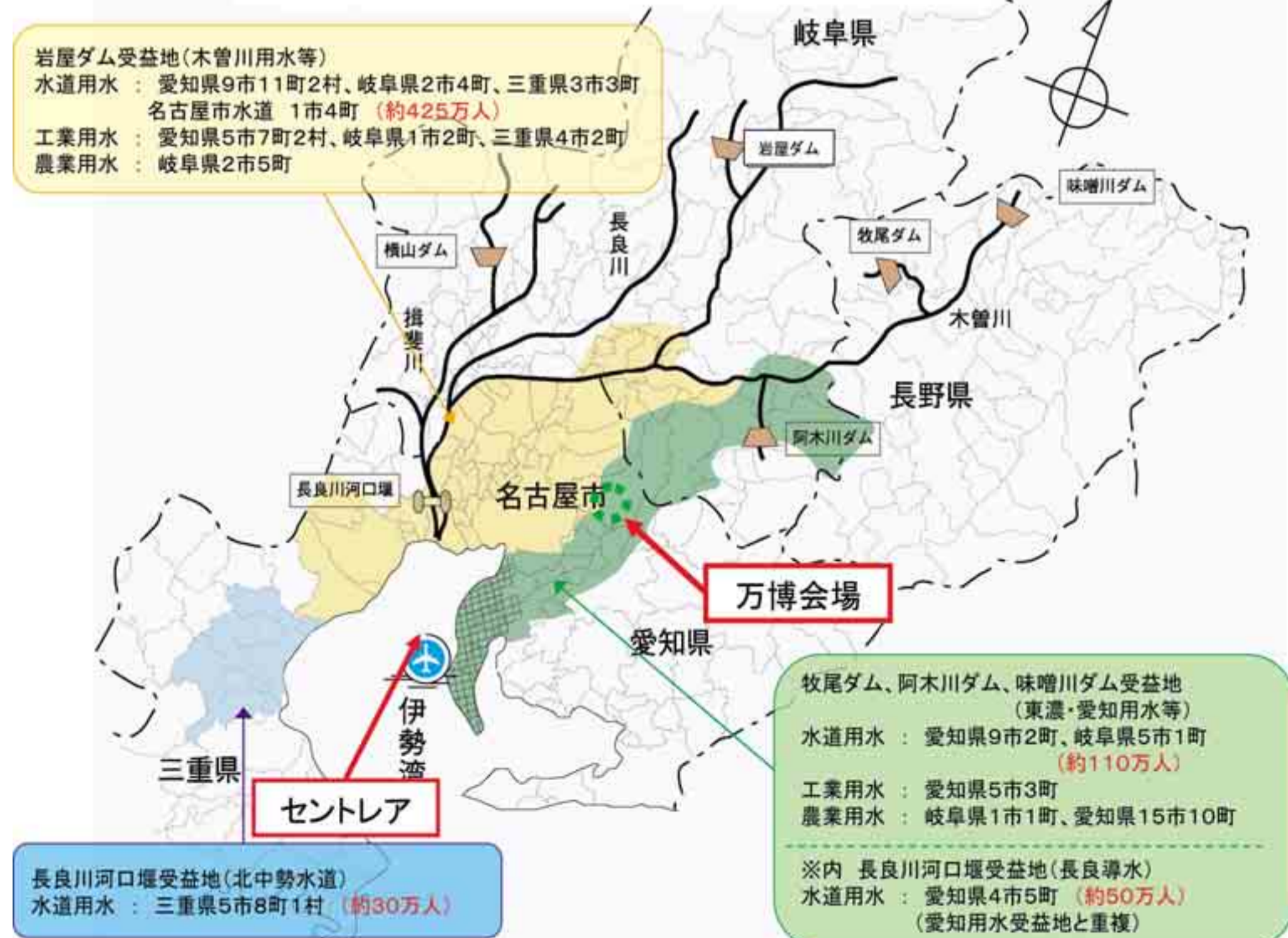
- ダムの枯渇による甚大な被害の発生を防止するため、渇水調整協議会等を開催し、各利水者との調整や対策を実施しました。
- 木曾川水系では、貯水量が低下した牧尾ダム、岩屋ダムを温存するため、貯水量に余裕のある阿木川ダム、味噌川ダムから水を回す4ダムの総合運用を緊急的に実施しました。
- 長良川河口堰の水を新たなエリアに供給するなど有効利用を図りました。  
(また、長良川河口堰の開発水量を緊急的に活用するための準備を進めました。)
- これらの措置により、牧尾ダム、岩屋ダムの枯渇を防ぐことができました。

木曾川水系緊急水利調整協議会の開催  
H17.6.13(第1回)



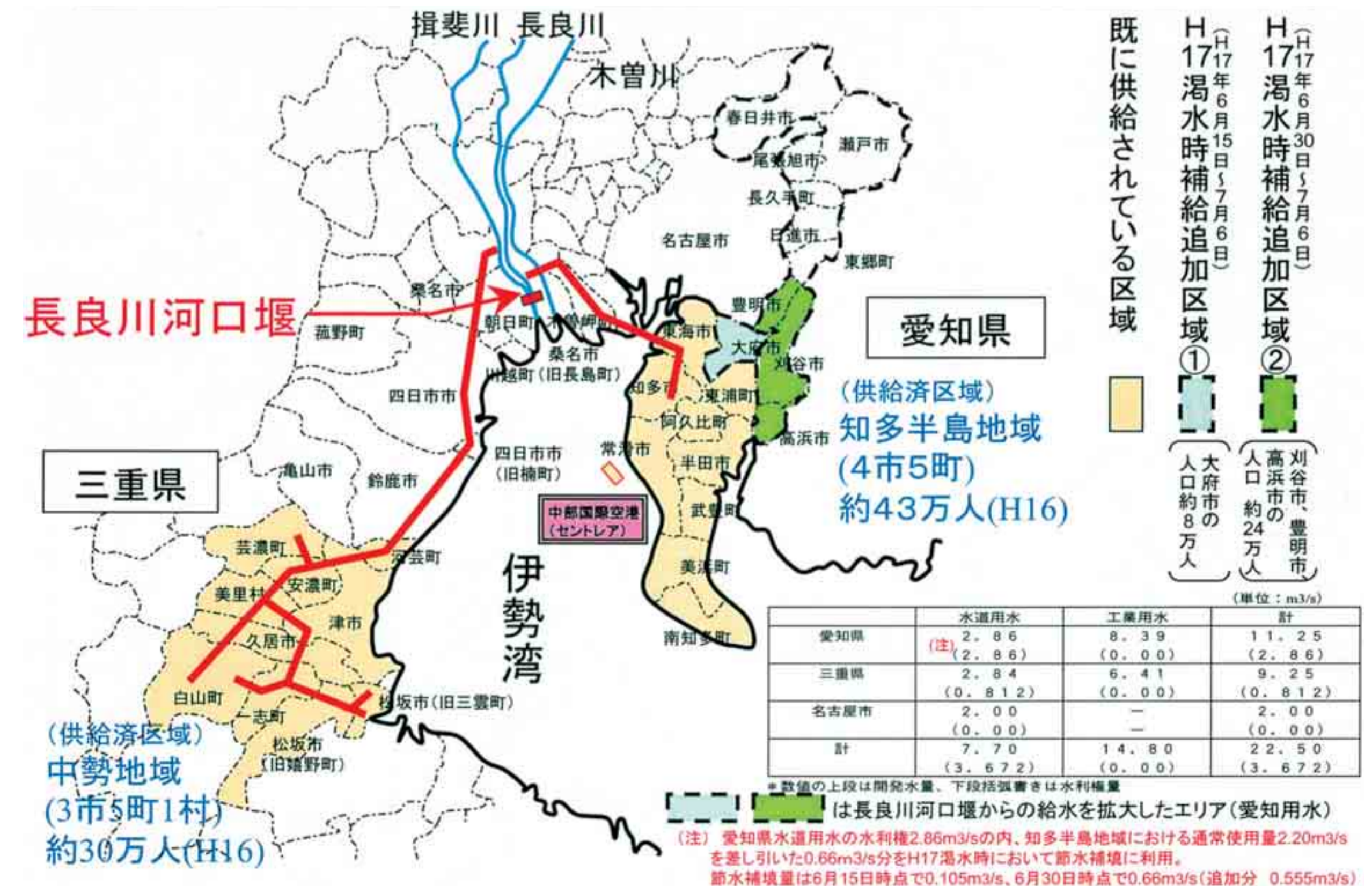
## 長良川河口堰の水利用

### 木曾川水系4ダム+河口堰の受益地域イメージ (牧尾ダム、岩屋ダム、阿木川ダム、味噌川ダム+河口堰)



H17.6.29現在

### 長良川河口堰からの利水供給区域及びH17渇水時追加区域





# 4 渇水対策等の対応(その2)

- 木曾川水系において、6月28日～7月4日までの断続した降雨により、各ダムの貯水量は回復しました。今回の渇水において、各関係機関の節水に対する取り組みや阿木川ダム、味噌川ダム、長良川河口堰などの施設の効果により、大きな被害の発生を食い止めることができました。
- 今後このような異常渇水時においても都市用水の安定供給や河川環境を保全するため、徳山ダムの整備や木曾川水系連絡導水路の計画を進めていきます。

## 異常渇水に耐える施設整備



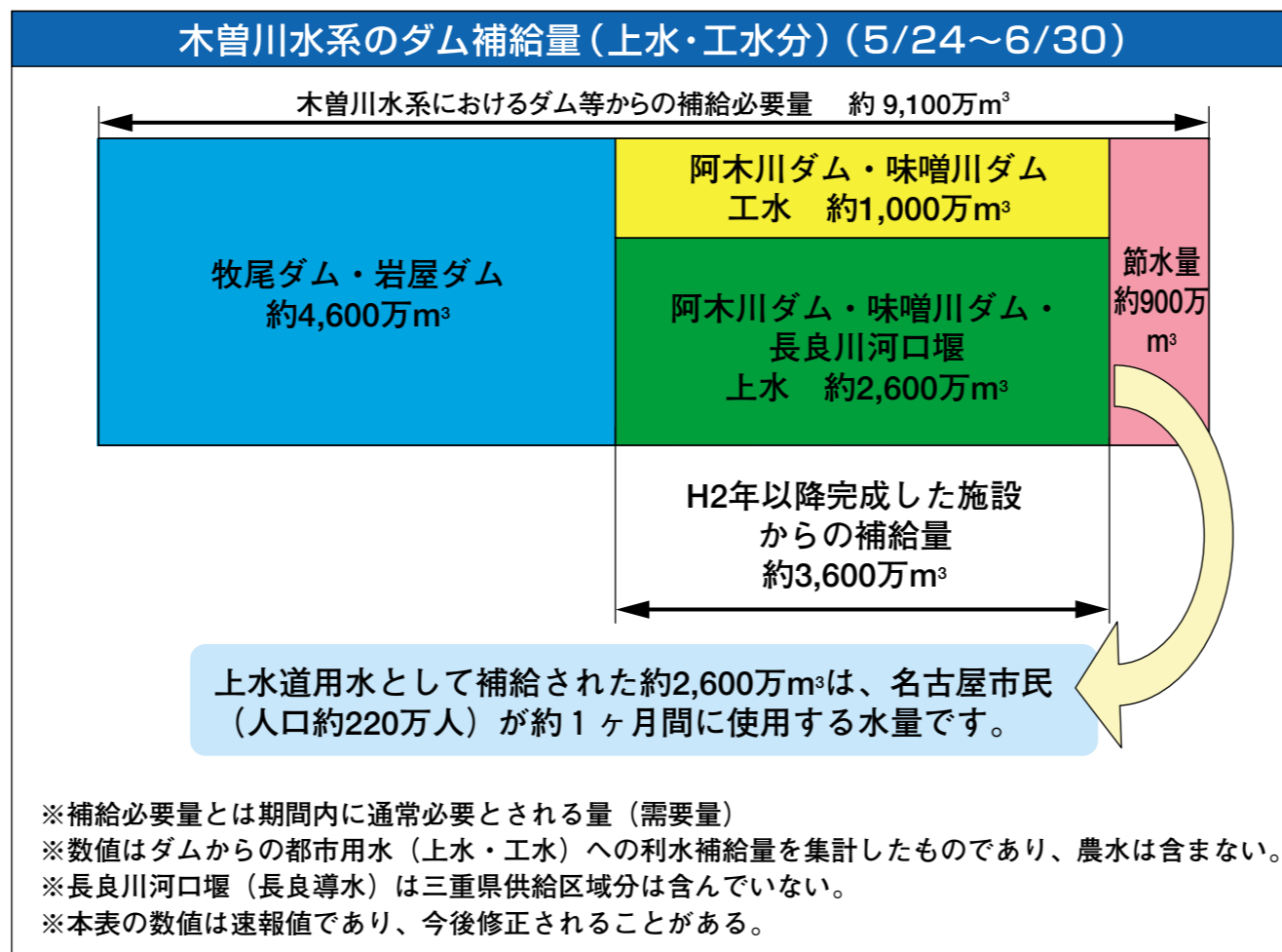
徳山ダム 完成イメージ

## 計画的に整備してきた水源施設が被害を大幅に緩和

5月24日(牧尾ダム第1回節水開始日)から6月30日(貯水量が回復した日)までのダム等からの補給量を整理してみました。

阿木川ダム、味噌川ダム、長良川河口堰の補給量は、全ダム補給総量(8,300万 $m^3$ )の4割強(3,600万 $m^3$ )を補給しています。

牧尾ダム、岩屋ダムだけの場合には6月下旬にはダムが枯渇し、各地で断水等の被害が発生していたと思われます。



## 徳山導水路事業

